



福願い火の粉舞う



① 燃え盛るたいまつを荒々しくぶつけ合い火の粉を散らす／② 常行堂を目指す献膳行列一行／③⑤ 凛々しい表情の厄年男衆／④ 二十日夜祭の角灯／⑥ 境内には下帯姿の厄年男衆らの勇ましい掛け声が響いた



毛越寺常行堂
二十日夜祭

毛越寺で1月20日、恒例の常行堂二十日夜祭が行われた。二十日夜祭は同寺常行堂の本尊阿弥陀如来の守護神として祭られている作物の神「摩多羅神」の祭礼。

総勢300人が常行堂を目指して町内を練り歩く献膳行列や、厄年男衆らが境内で威勢よい掛け声とともに燃え盛るたいまつを荒々しくぶつけ合う火たきのぼりなどに続き、僧侶や子弟による国無形民俗文化財延年の舞を奉納し、五穀豊穰、除災招福を祈った。

⑦ 常行堂到着後、手にすると福が来るという縁起物・蘇民袋の争奪戦が行われ、境内は熱気に包まれた／⑧ 今年の蘇民袋の取り主となった奥州市衣川区の千葉慎一さん／⑨ 争奪戦後には餅まきが行われ、見物客は福男にあやかろうと夢中になって餅を取っていた／⑩ 摩多羅神が祭られている毛越寺常行堂。毎年1月20日は、古式の修法と法楽としての延年の舞が奉納される／⑪ 静まり返った堂内では一山の僧侶らによって延年の舞が奉納され、平安より受け継がれた舞が参拝者を魅了した